

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社グリムファクトリー

所在地	栃木県下野市		
ホームページ URL	http://www.grimfactory.co.jp		
設立年	1997年	業種	印刷業、塗装印刷
従業員数	15人	資本金	300万円

企業概要

当社は、剥がれない塗装・繊細な印刷という、業界をリードする技術を通じて品質・納期はもちろん、お客様の信頼と期待に応え、満足して頂くことにこだわります。

特に、UVインクジェット印刷、シルクスクリーン印刷、パッド印刷から各種焼付塗装、レーザー加工の分野まで、お客様のニーズに合った製品を提供しております。



自社の強み

当社では、特殊印刷に強みを持っています。印刷時に紫外線を照射してインクジェットを瞬間に硬化させる技術において、従来不可能と言われていた金属板への印刷は特許技術を取得することにより様々な素材へ印刷することが可能となり、今までできなかったモノへの印刷を実現することで、業界をリードする技術を通じて社会に貢献するという理念を実践しております。



一押し商品

当社は、幅広い経験に基づいて印刷技術全般にわたって顧客対応できるという実績をベースに最適な印刷方法を提案することができます。コロナ禍、ホームページ記載の当社技術内容を閲覧してお問い合わせから委託生産をお受けするケースも増え当社を選んで頂けるメリットと考えております。

現在は、JR東日本様の上野駅公園口改札内に設置されている上野恩寵公園案内図、牛込門・牛込駅周辺の変遷の案内図、飯田橋駅西口の史跡案内図など、当社の特許技術が採用されて設置された製品に力を注いでいます。



撮影協力 東日本旅客鉄道株式会社様

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は日用品の金属板にインクジェットで模様を印刷し、基材の上に強固に付着させる方法を開発し、当初栃木県よろず支援拠点を訪れて、その後、知的財産として権利化の可能性を検討する相談に訪れました。

最初の相談概要

開発技術に対する新規性・進歩性について先行技術の調査手法を理解していただき、本技術に関する関連会社の特許等の権利関係、契約関係が重要であることを分かっていたいただきました。

その後の相談概要

担当者より他社の特許技術の調査について相談を受けて、会社名や特許分類による調査方法を理解していただきました。また、シリコン表面へのインクジェット印刷が可能なプリンターメーカーの調査について、J-PlatPatやWIPOによる検索方法についてアドバイスをしました。

窓口を活用して変わったところ

経営者は知財意識を強く持たれているので、秘密保持契約の締結前やサンプルを提出する前には必ず権利関係を意識されるようになりました。特許出願することで事業や技術を整理できるとの認識もあります。さらに、経営者として継続的に事業を発展させるため、知財権を含め広くバランスを持った事業運営を強く意識されています。

ホームページのリニューアルにおいても、特許技術に裏付けされた剥がれないデジタルカラー塗装印刷により業界をリードして社会に貢献したいという想いが溢れているようです。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

弁護士の無料相談等、個人で動くには大変な労力を使いますが、まずは窓口で御相談するとの確なご案内をして頂けます。

窓口担当者から一言（氏名：樋田 治三）



現在の主力業務で大きなシェアを持っておられ、次の柱を強く意識して事業を継続しています。既存業務を活かしながら次のステージへ向かって研究開発を進めており、経営者の知財権を活用した事業展開に向けて今後も支援を続けていきたいと思っております。

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社グリムファクトリー

所在地	栃木県下野市		
ホームページURL	http://www.grimfactory.co/blank-c14qb		
設立年	1997年	業種	印刷業
従業員数	13人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、創業以来「お客さま第一」と考え、クオリティー・迅速な対応・気遣い・コスト削減を心がけ、当社からのご提案や新商品開発のお手伝いなどを通して、お客様満足度ナンバー1を目指しています。

特に、シルク・パッド印刷からデジタル印刷までの分野で、量産品でも不良ゼロ、少量多品種でも特徴があり満足いただける製品を提供しています。



自社の強み

当社では、特殊印刷に強みを持っていますが、特に自動車のタイミング・チェーンと呼ばれる金属部品への焼付け塗装技術は、「10年間で不良ゼロ」という実績を誇っており、業界でほぼ独占に近いものを持っています。この強みを当社の第一の柱として次の展開を図っています。

UV印刷技術はその一つで、長年基礎実験を繰り返し、他社では容易ではない金属・プラスチック面への高密着の技術を見出しています。お客様の信頼と期待に応えられるような着実な成果や、「今までなかったもの」の実現を目指すことで、業界をリードし社会に貢献することという理念を目指しています。



一押し商品

当社は、幅広い経験から印刷技術全般にわたって顧客対応できるという実績を持っています。また、その経験から最適な印刷方法を提案できる形をとることができます。委託をお請けすることからスタートし、より高品質かつ低価格でスピーディな印刷物をお届けできることが、当社を選んで頂けることのメリットと考えております。

現在は、特許取得したUVデジタル印刷を活かした製品にも力を注いでいます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は日用品の金属材にインクジェットで模様を印刷し、基材の上に強固に付着させる方法を開発されました。この技術を用いた方法で試作し、販売できるようなルートを求めて、当初「栃木県よろず支援拠点」を訪れました。その後、知的財産として権利化が可能かどうかについて、同拠点の担当者から紹介されました。

最初の相談概要

一般的にはプライマー処理してコーティングし、その上からインクジェットで印刷しますが、強度が出ないので、独自の工夫を検討されていました。長年の経験から特長ある商品開発につなげたい、という強い意識から今回の開発が生まれたものと思われます。

その後の相談概要

本技術に対する新規性・進歩性の有無について、調査方法を理解して頂きました。さらに本技術に関する関連会社の特許等の権利関係、契約関係が重要であることを分かっていた頂きました。技術の本質は当社が単独で開発したものであるため、その後の関連他社対応については、事業が上手くいくことを念頭において進めるようにアドバイスしました。また、デザイン面から事業推進への支援として、デザイン専門家等の派遣を行っています。

窓口を活用して変わったところ

経営者は知財意識を強く持たれているので、秘密保持締結契約前やサンプルを出す前には必ず権利関係を意識されるようになりました。出願することで事業や技術を整理できるとの認識もあります。さらに、経営者として継続的に事業を発展させるため、知財権を含め広くバランスを持った事業運営を強く意識されています。「いままでなかった」を目指し、業界をリードする技術で社会に貢献するという会社の理念をより一層具現化されているようです。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

現在どのような状況にあるのかをできるだけ具体的に示すこと、どのような方向に向きたいかを明確に示すことが、窓口から有益な情報やアドバイスを受けるポイントと考えます。窓口では幅広い分野の専門家を紹介されているので、知財を切り口にして事業を守り、攻めの事業を構築することができると思います。

窓口担当者から一言（氏名：山内 通秀）



現在の主力業務で大きなシェアを持っておられ、次の柱を強く求めておられたときに窓口に来られました。地道に研究開発を進められ権利取得をしてから次への展開を画策すると言う姿勢は、既存業務を沈滞させることなく、新天地を開きたいという夢を適える方策に合致しています。多岐にわたって支援を進めたいと思います。

窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

企業情報

有限会社 グリムファクトリー

所在地	栃木県下都賀郡壬生町		
ホームページURL	http://www.grimfactory.co/blank-c14qb		
設立年	1997年	業種	印刷業
従業員数	10人	資本金	300万円

企業概要

当社は、創業以来「お客さま第一」と考え、クオリティー・迅速な対応・気遣い・コスト削減を心がけ、当社からのご提案や新商品開発のお手伝いなどを通して、お客様満足度ナンバー1を目指しています。

特に、シルク・パッド印刷からデジタル印刷までの分野で、量産品でも不良ゼロ、少量多品種でも特徴があり満足いただける製品を提供しています。



自社の強み

当社では、特殊印刷に強みを持っていますが、特に自動車のタイミング・チェーンと呼ばれる金属部品への焼付け塗装技術は、「10年間で不良ゼロ」という実績を誇っており、業界でほぼ独占に近いものを持っています。この強みを当社の第一の柱として次の展開を図っています。

UV印刷技術はその一つで、長年基礎実験を繰り返し、他社では容易ではない金属・プラスチック面への高密着の技術を見出しています。お客様の信頼と期待に応えられるような着実な成果や、「今までなかったもの」の実現を目指すことで、業界をリードし社会に貢献することという理念を目指しています。



一押し商品

当社は、幅広い経験から印刷技術全般にわたって顧客対応できるという実績を持っています。また、その経験から最適な印刷方法を提案できる形をとることができます。委託をお請けすることからスタートし、より高品質かつ低価格でスピーディな印刷物をお届けできることが、当社を選んで頂けることのメリットと考えております。

現在は、特許取得したUVデジタル印刷を活かした製品にも力を注いでいます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は日用品の金属材にインクジェットで模様を印刷し、基材の上に強固に付着させる方法を開発されました。この技術を用いた方法で試作し、販売できるようなルートを求めて、当初「栃木県よろず支援拠点」を訪れました。その後、知的財産として権利化が可能かどうかについて、同拠点の担当者から紹介されました。

最初の相談概要

一般的にはプライマー処理してコーティングし、その上からインクジェットで印刷しますが、強度が出ないので、独自の工夫を検討されていました。長年の経験から特長ある商品開発につなげたい、という強い意識から今回の開発が生まれたものと思われます。

その後の相談概要

本技術に対する新規性・進歩性の有無について、調査方法を理解して頂きました。さらに本技術に関する関連会社の特許等の権利関係、契約関係が重要であることを分かっていた頂きました。技術の本質は当社が単独で開発したものであるため、その後の関連他社対応については、事業が上手くいくことを念頭において進めるようにアドバイスしました。また、デザイン面から事業推進への支援として、デザイン専門家等の派遣を行っています。

窓口を活用して変わったところ

経営者は知財意識を強く持たれているので、秘密保持締結契約前やサンプルを出す前には必ず権利関係を意識されるようになりました。出願することで事業や技術を整理できるとの認識もあります。さらに、経営者として継続的に事業を発展させるため、知財権を含め広くバランスを持った事業運営を強く意識されています。「いままでなかった」を目指し、業界をリードする技術で社会に貢献するという会社の理念をより一層具現化されているようです。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

現在どのような状況にあるのかをできるだけ具体的に示すこと、どのような方向に向きたいかを明確に示すことが、窓口から有益な情報やアドバイスを受けるポイントと考えます。窓口では幅広い分野の専門家を紹介されているので、知財を切り口にして事業を守り、攻めの事業を構築することができると思います。

窓口担当者から一言（氏名：山内 通秀）



現在の主力業務で大きなシェアを持っておられ、次の柱を強く求めておられたときに窓口に来られました。地道に研究開発を進められ権利取得をしてから次への展開を画策するという姿勢は、既存業務を沈滞させることなく、新天地を開きたいという夢を適える方策に合致しています。多岐にわたって支援を進めたいと思います。